



落 合 六

みえないものを 大切に

校園長 百合野 壽郎

私の母親の故郷の学校に、大きな石碑が立っています。そこには『みえないものを 大切に』と刻まれています。この碑文は今から 80 年以上前に、その学校の校歌を作詞された方が書かれたそうです。

「みえないもの」とは、皆さんは何のことだと思いますか。残念ながら、この碑文に書かれた内容の由来は分からずじまいなのですが、私は二つの意味があると考えています。

一つ目は、「そこに自分がいないから みえないもの」です。つまり、自分がその場にいることができないから見えない。けれども、見えない場所で自分のために頑張ってくれている人達がいるということです。

一番身近な人でいうと家族です。例えば子ども達が学校で学んでいる時でも、家で洗濯や掃除をしてくれている人、仕事場で一生懸命働いてくれている人がいます。

毎日食べている給食も、普段作っている人達を見ることは、ありません。ましてや、農家や漁師の人達など、食材を取ったり、作ったりしている人達の様子は、なかなか見えないものです。

このように見えないところで、みんなのために働いてくれている人が大勢います。「みえないものを大切に」の一つは、『感謝をする気持ちをもつことを 大切に』するということです。

二つ目は、「そこに自分がいても みえないもの」です。

人は、毎日たくさんの人達と出会い、関わり合いながら生活をしています。しかしながら、目の前にいる相手が、どんな思いでいるのか、何を考えているのかは、よほど親しい間柄の人でも、なかなか分からないものです。だからこそ、いつも相手のことを思いやって過ごすことが大切なのです。人はそれぞれ、年齢や経験に応じて、相手のことを大切に思うことができるようになります。みんなが相手のこと、周りのことを思うことで、一人ひとりが気持ちよく過ごすことができるようになるのです。「みえないものを 大切に」の二つ目は、『思いやりの心をもつことを 大切に』するということです。

この「感謝の心」と「思いやりの心」の二つの目に見えないものを大切にする人に育ってほしいという願いで、私は石碑が建てられたものと考えています。

時代や場所こそ違え、その願いは、現在の日本中の学校の共通の願いでもあります。落合第六小学校の子ども達が、「みえないもの」を意識し、大切にする子ども達であるように、教職員一同一丸となって、教育に取り組んでいます。保護者・地域の皆様方には、一学期、本校教育活動にご理解・ご協力を賜り、ありがとうございました。

体育学習発表会を終えて ～1年生～

- | | |
|---|-----|
| ○たまいれのとき、すごくたくなげたらはいった。たまが3こはいつてうれしかった。 | T.K |
| ○50めーとるそう、ぜんりよくではしった。2いでくやしかった。 | S.R |
| ○たまいれのれんしゅうでは、あまりはいらなかったけれど、
たいいくがくしゅうはっぴょうかいでは2こはいった。 | K.T |
| ○50めーとるそう、おもいきりはしった。1いをとれてがんばってよかったとおもった。 | U.R |
| ○だんすをおどるのがたのしかった。じょうずにおどれて、よかったとおもった。 | K.S |
| ○50めーとるそう、がんばってはしった。1いでえがおになった。 | Y.R |
| ○50めーとるそう、たのしかった。おにいちゃんがみてくれていたから、がんばれた。 | O.K |
| ○たまいれでまけたけど、たのしかった。ちえっこりだんすは、うまくおどれたからよかった。 | H.K |
| ○だんすをじょうずにおどれて、たのしかった。50めーとるそうが、2とうでうれしかった。 | H.N |
| ○たまいれのだんすがたのしかった。たまいれのかごに、2こぐらいいれられてうれしかった。 | A.Y |
| ○おかあさんに50めーとるそうが1とうで、ほめられた。2ねんせいでもまた1とうになりたい。 | O.S |
| ○たまいれで、かごにたまをいれるのがむずかしかったけど、がんばった。 | N.Y |
| ○いっぱいおどって、たのしかった。たまいれのたまがいっぱいはいってうれしかった。 | O.M |